

【費用ゼロで明日から始められる蹄病の予防】

はじめに

この季節の蹄病の話題と言えば暑熱ストレスに関するものが多くありますが、皆さんもう聞き飽きているかもしれませんので、今回は、「費用ゼロ」で「明日から始められる」蹄病の予防について書きたいと思います。

YouTube を見て！

まずは YouTube で



Zinpro Locomotion Scoring
DairyAustralia・6009 回視聴・7 年前
A useful video from Zinpro on the visual

「Zinpro locomotion score」と検索してみてください。locomotion score (ロコモーションスコア)とは跛行の程度を歩き方から数値化する方法です。この動画を見て感じて頂きたいのは、跛行の程度を数値化できるようになりましょう！ではなく、**牛の歩く速度**です。

跛行を診断する時には、基本的に牛にとっての通常の歩行速度で歩いてもらう必要があります。早歩きや走っている状態では跛行はわかりません。

皆さんの方が牛の歩く速度についてはご存知とは思いますが、**牛の歩く速度は人間より遅いです。**

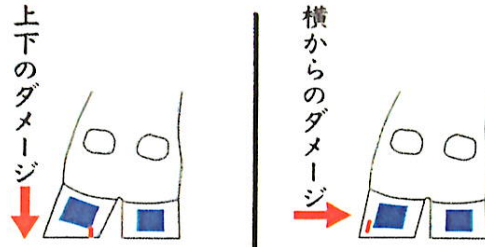


「当たり前だ！」とお叱りを受けそうですが、日々の農場の忙しい仕事の中で、人間の速度に合わせて牛を歩かせてしまっていることはありませんか？パーラーへの移動、除糞、ペンの移動など思い返してみてください。

小さなスリップが蹄病につながる

牛自身の速度より早く歩かされる時には、転倒までいかなくとも、小さくスリップすることが多くなります。その時には牛舎の床面の溝に蹄がカツと衝突し、踏ん張ることで牛の蹄には大きな負荷がかかります。

研究データがあるわけではありませんが、この小さなスリップは特に白線病という蹄病の発生に関



蹄底潰瘍

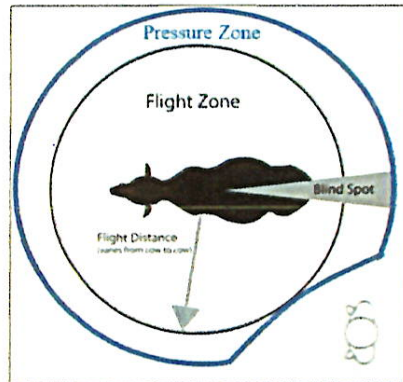
わっていると感じています。例えば新たに床面の溝切を行い、滑ることが少なくなったとしても、牛が早く歩かされているときには蹄に大きな負荷がかかっていると考えられます。

白線病

上の図にあるように、白線は横からの衝撃に弱い組織です。

牛が危険を感じるとき

下の図のように牛には死角があります。この死角から近づかないことは皆さんご承知だと思います。また、それぞれの牛は人が近づいてきたときに危険を感じて逃げる境界線を持っています。この境界線を意識して、急に牛に近づかないことも大切です。



また、牛は音にも非常に敏感です。特に高い音に反応し警戒心を持ちます。パーラーに追うときなどには注意してください。

蹄病の中で白線病のコントロールは非常に難しいと感じていますが、日常の牛の扱いが大きく影響していると思います。今回ご紹介したのは当たり前のことですが、もう一度見直してみたいでしょうか。

参考文献 <https://www.dairystockmanship.com/>

YUSUKE IWASAWA



Total Herd Management Service